

者の相談に応じており、今後の課題として、学齢期のグループ療育など新たな事業の実施に向け具体的な検討を進めている。

## ●環境行政

**議員** 皇后島（ねずみ島）及び周辺の現状と今後の対策について伺いたい。

**環境部長** 皇后島にある建築資材用の砂置き場の運用については、使用者の長崎砂管理組合と地元との間で環境保全協定書が締結され、その履行について長崎県と使用者との間で覚書も締結されているが、近年、道路への砂の堆積や防砂ネットの破損、砂の飛散に対する苦情が発生しており、平成18年7月に開催された環境保全協定書に関する臨時の協議会に本市も立会人として出席したところである。

苦情の対応については、使用者や管理者の長崎港湾漁港事務所から運搬トラックへの対策や防砂ネットの修理について前向きな回答があったが、19年11月の本市調査で未完了の事項が見受けられたため、関係機関に対し早急な対応を要請していききたい。また、大気汚染防止法に基づく立入調査を適宜実施し、適正管理について指導していききたい。



皇后島

**議員** 高島地区のまちづくり  
市町村建設計画等の進捗状況に

ついて伺いたい。

**市長** 市町村建設計画における高島地区のまちづくりの基本方針のもと、市町村建設計画、過疎地域自立促進計画に掲げられた事業のうち、長崎県に要望している高島西海岸高潮対策事業については実施の目途が立っていないが、その他の事業については順調に推移している。

軍艦島整備事業については、軍艦島上陸に際しての観光客等の安全確保対策を最優先に慎重に取り組んでいる。高島海水浴場のウッドデッキ改修事業は本年度の海水浴シーズンに間に合うよう完成した。水産種苗生産施設整備事業は本年度で完了する予定である。ハイビスカス等の花木生産事業は試験販売にまでこぎつけることができた。また、本年度から本町第1団地D・E・G棟建替事業を進めている。今後も、地域振興のために市町村建設計画を着実に進めていききたい。



軍艦島

## ●行政経営

**議員** 平成20年度予算編成方針について伺いたい。

**市長** 本市の中期財政見通しは地方交付税などの削減により厳しい環境にあるが、多種多様な課題に対処するとともに、長崎市の将来の都市像を目指すため、「予算編成の基本的な考え方」を策定した。この中で、将来の都市像

の実現に向けた現在と未来の2つの視点と、長崎の個性を際立たせる、安心して暮らせるまちを目指して知恵を絞る、行政と市民が力を合わせるという3つの施策の方向性を踏まえ、予算編成に取り組みたい。

また、市町村建設計画に盛り込まれている各種事業については、今後とも積極的な推進を図ることとしている。平成20年度の予算編成においても、これまでと同様、事業の緊急性や必要性、地域のバランスなどを勘案し、充てな可能な財源の積極的な活用を図りながら旧町地域の地域振興や活性化を図っていききたい。

## 自民明政クラブ

## ●観光振興策

**議員** 稲佐山観光の活性化について伺いたい。

**市長** スカイウェイ廃止に伴う対策として、山頂における駐車場等の整備を検討しているが、家用車で気軽に山頂まで訪れる環境とするには一定規模の駐車場整備が必要であるため、利用者の動向を踏まえながら、地上波デジタル化に伴うテレビ鉄塔跡地の利用等も含めた整備ができないか検討していききたい。

山頂からの道路新設による周回道路の整備に



稲佐山

については、利用者の交通動線を円滑に処理することができ、稲佐山観光の活性化に効果があると思われる。しかし、中腹から山頂までの高低差が約60mあり地形が急峻であるため、多額の費用がかかると思われる。また、ロープウェイの索道と道路との交差の処理やテレビ塔など周辺施設を考慮する必要があるなど、多くの問題点があるため、さまざまな角度から実現の可能性について検討していききたい。

## ●地域振興

**議員** 「野母崎海の健康村」施設リニューアルについて伺いたい。

**市長** 施設の指定管理者である財団法人長崎市野母崎振興公社は、近年の利用者減少の要因を、オープン当初から施設に変化がなく、目新しさがなくことや、以前はなかった入浴施設が長崎市内や周辺に増えてきたことなどと分析し、露天風呂、ジャグジーの新設やレストランの拡充など施設のリニューアルを要望している。

本市としては、同施設がオープンして7年目であり、本市の他の宿泊施設と比べても開設後まだ日が浅い新しい施設であること、また何よりも本市の厳しい財政状況を踏まえるなかで、まずは現施設の有効活用を努めるとともに、利用者アンケートの好評を得ている料理や接客な



野母崎陽の岬温泉 海の健康村